



令和4年度 第2回理事会（書面）次第

日時： 令和4年9月13日(火)

《送付資料》

- ① 挨拶
- ② 令和5年度教育条件整備に関する要望書
- ③ 令和5年度 29校要望一覧
- ④ 令和4年度1学期世中P連本部活動報告
- ⑤ 「令和4年度PTA研修会記録」の原稿依頼について

1. 挨拶 ※資料①

世中P連令和4年度会長	栄 裕美
世田谷区立中学校長会会長	桜丘中学校 校長 加藤 敏久先生
教育委員会事務局 生涯学習部長	内田 潤一様

2. 議事

1) 「教育条件整備に関する要望書」について ※資料②、③

29校より集まりました要望を集約し、令和5年度教育条件整備に関する要望書をまとめました。
29校要望一覧と合わせて内容をご確認いただき、訂正やご質問などがありましたら、9月17日(土)
までに各ブロック担当副会長までご連絡ください。内容をご承認いただける場合は、返信不要です。

2) 周年行事について

来年度開催する70周年記念講演会に関して、みなさまからのご意見を募集します。取り上げたい内容や具体的な講師について、9月30日(金)
までに各ブロック担当副会長までご連絡ください。

3. 活動報告および連絡

1) 「令和4年度1学期世中P連活動報告」 ※資料④

2) 役員選考委員会について

役員選考委員グループLINEより別途ご連絡差し上げます。

4. 研修会について

1) 「PTA研修会記録」の原稿依頼について ※資料⑤

2) 単P研修会費の支払いについて

本年度は、29校中18校が開催予定です。研修会費につきましては、事前にお知らせしました
とおり、世中P連会計担当より直接お口座に振り込ませていただきます。

5. 今後の予定 11月19日（土）14:00～ 第2回単P会長会 @北沢タウンホール

1. 挨拶

<世中P連令和4年度会長 栄 裕美>

日頃より世中P連の活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

2学期が始まり、修学旅行や合唱コンクールなどの行事の実施に向けて様々なご対応をしてくださっている先生方に心より感謝申し上げます。

また、PTA会長の皆さんにおかれましても、コロナ禍での活動が3年目となり色々と検討しながら内容を見直し、自校のPTA活動にご尽力されていることと思います。

第2回理事会は、書面にて開催することとなりました。今回の議題では、世田谷区教育委員会へ提出する「令和5年度教育条件に関する要望書」が中心となります。今年度は、各校の現状も教育委員会へ伝えたいと思い、各校から提出された要望書も資料として添付いたします。今回送付の 資料をご確認いただき、充実した要望書となりますようご意見をお願いいたします。

まだまだ先が見えませんが、状況が少しでも良くなり、皆さんにお会いして理事会が開催できることを願っています。

<世田谷区立中学校長会長 桜丘中学校長 加藤 敏久>

新型コロナウイルス感染症の第7波により、第2回世中P連理事会が書面開催となりました。世中P連の役員の皆様には、ウィズ・コロナの時代の理事会の運営につきまして、さまざまご苦労があると思います。皆様に心より敬意を表します。

例年、この理事会では、次年度の教育条件整備に関する要望書の確認と質疑応答が主な内容でした。書面開催にはなりましたが、要望書の内容等についてお互いに情報を共有し、すべての生徒にとってよりよい教育環境の実現のため、これからも協力してまいりましょう。

さて、2学期がスタートしました。昨年度は多くの学校で修学旅行を延期したり中止したりせざるを得ない状況でしたが、本年度はこれまで何とか計画通りに実施できています。まだまだ制約はありますが、運動会や職場体験も感染症対策を徹底しながら進められています。様々な活動での生徒たちの笑顔に救われる思いです。

やはり、学校教育は対面が基本だということ、そして、学校行事はなくてはならないものだということを実感しています。

GIGAスクール構想による個別最適な学びと協働的な学びも効果的かつ効率的に取り入れながら、対面による「人との関わり」「人とのつながり」を大切にし、社会の急激な変化に適応する力をすべての中学校ではぐくめるよう、世中P連と校長会の「心のディスタンス」を密にして連携を強めてまいりたいと思います。今後とも校長会へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

<世田谷区教育委員会事務局 生涯学習部長 内田 潤一>

世田谷区立中学校PTA連合協議会の皆様におかれましては、日ごろより区の教育行政、区立中学校の教育活動につきまして、ご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。この場をお借りして感謝を申し上げます。

さて、教育委員会では、第2次世田谷区教育ビジョンが、令和4年度より2年間の調整期間に入りました。調整計画では、これまでを振り返り教育を取り巻く将来に向けた諸課題を的確に反映させることで、次期教育ビジョンにつなげる視点を取り入れた計画としたところです。

また、昨年末に開設しました「教育総合センター」では、施設の特性や機能を活かし、学校支援・教員等支援の強化、子ども支援・教育相談・個別支援の強化、地域・社会との連携の強化などに取り組んでおります。

教育委員会といたしましては、引き続き、学校・保護者・PTA・地域の皆様と力を合わせて、世田谷らしい地域とともに子どもを育てる教育をいっそう充実してまいりたいと考えております。

時節柄、お体に十分ご自愛いただき、皆様が益々ご活躍されますよう申し上げまして、ご挨拶といたします。今後とも、どうぞよろしくお願ひいたします。

世田谷区教育委員会

教育長 渡部 理枝 様

世田谷区立中学校 P T A連合協議会
会長 栄 裕美

令和5年度 予算編成に向けて
『教育条件整備に関する要望書』

清秋の候、世田谷区教育委員会教育長渡部理枝様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、日頃より区立中学校教育の充実や発展のためにご尽力いただき、誠にありがとうございます。世田谷区立中学校 P T A連合協議会の活動につきましても、ご理解、ご支援、ならびにご協力を賜り重ねて感謝申し上げます。

さて、世田谷区教育ビジョンにおいて「一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばし、社会をたくましく生き抜く力を学校・家庭・地域が連携してはぐくむこと」とあります。この方針に基づいて多くの施策が実行され、よりよい学校教育がなされることは我々の強い願いでもあります。

しかし、今日、学校や教職員が抱える課題はますます複雑化、多様化しています。これまでの知識や技能だけでは予測困難な未来を生きる子どもたちに、進んで自ら考え、協力し、課題を解決していく力を身につけさせ、未来への希望を持てるような教育をさらに推し進めていってほしいと考えます。

そのためには、学校を取り巻く安心安全な環境づくりや教育の仕組みの改善が不可欠です。子どもたちを育てる学校・家庭・地域が連携の充実をし、日々の教育活動ができるような仕組みを作っていただきたいと思います。

世田谷区立中学校 P T A連合協議会では、「教育条件整備に関する要望事項」を整理し、下記のような項目別にまとめました。

- 1 学校教育環境の充実・整備に関する要望**
- 2 学校施設・設備の整備と安全に関する要望**
- 3 部活動に関する要望**
- 4 地域の教育環境、P T A活動環境の整備に関する要望**
- 5 いじめや不登校の問題に関する要望**
- 6 その他**

今後とも教育委員会と世田谷区立中学校 P T A連合協議会との連携を大切に、子どもたちの未来のために、世田谷の教育が発展していくことを希望します。

令和5年度 教育条件整備要望書

1 学校教育環境の充実・整備に関する要望

近年、生徒を取り巻く環境の変化により、先生方には、人間関係形成や生徒の心の育成、保護者への対応など、学力の向上以外にも生徒一人ひとりへの多様できめ細やかな教育が求められています。しかし、先生方が生徒個々に対応する時間は少なく、先生方の指導力を充分に発揮するには難しい現状があります。令和3年度からは新型コロナウイルス感染症拡大がみられる中でも、従来の学校活動を少しでもできるようにと先生方にはご尽力いただき、例年以上に負担も増えています。生徒一人ひとりの多様な個性・能力を伸ばす教育理念を形あるものにできるよう、下記の事項を要望します。

社会の情報化が急速に発展する中、生徒が情報社会において、正しい知識を身につけ、活用していく事は当たり前となりつつあります。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、オンラインでの授業や保護者会、各種会議が行われるなど環境は急速に変化をしています。生徒一人に一台のタブレット配布をしていただき、ありがとうございました。しかし、現状ではそのタブレットの機能を十分に活かすことができずにいます。生徒の持ち物の多いことによる体への負担等を考慮し、デジタル教材の活用を訴える声も引き続き多数上がっています。先進的にＩＣＴを使用した学習支援を行っている世田谷区だからこそハード面だけではなくソフト面においてもＩＣＴ教育の充実と環境の整備を引き続き要望します。

(1) I C T の活用の充実（新規・継続）

- ①学校による環境に差が出ないよう、各校の取組や活用方法の状況共有、統一化を要望
- ②タブレットを使用したアクティブラーニングの授業の増加を要望
- ③当該分野に詳しいＩＣＴ支援員の増員、配置時間の増加、常駐を要望
- ④教科書、資料、プリント、ノートなどのデジタル化を要望
- ⑤プログラミング授業の充実を要望
- ⑥今後またコロナと同じような状況が起こった場合の対処の仕方の検討を要望
- ⑦家庭へのＩＣＴ環境のための補助の強化を要望

(2) 教職員の増員（継続・新規）

- ①全クラス、担任・副担任の2名体制、習熟度別クラスや支援を必要とする生徒対応など、生徒人数に対する教員の増員を切に要望
- ②スクールサポートスタッフの増員を要望
- ③学校包括支援員の複数配置を要望
- ④教育委員会で教員を探すなどの対策を要望
- ⑤副校長事務補佐の新設を要望
- ⑥スクールソーシャルワーカーの設置を要望
- ⑦スクールロイヤーの設置を要望

(3) 少人数教育・授業（継続・新規）

- ①35人以下学級の全校、全学年での実現を要望
- ②実践的な英語教育の充実を図るため、外国人教師、ＡＬＴの常勤配置、増員や、教員条件の柔軟化に向けた働きかけを要望
- ③主要5教科の習熟度別少人数制の授業を要望
- ④学習の遅れ、学習障害への個別支援を行うための人員配置の増員を要望

(4) 特別支援教育の充実（継続・新規）

- ①生徒たちが無理なく通学できるよう、2校に1校程度、知的障害学級・肢体不自由学級の増設を要望
- ②特別支援、不登校対応スクール新規開設を要望
- ③特別支援学級のさらなる充実のため、教員の増員を強く要望
- ④自閉症などを対象としたクラスを各校に設置を要望
- ⑤すまいるルームの利用を必要であれば在学中の3年間の支援を要望
- ⑥特別支援教育の指導充実を要望

(5) その他

- ①キャリア教育のための高校生・大学生・社会人の様々な職種の方の講演・交流の場を増やすための区としての人材確保サポートを要望
- ②教科「日本語」の授業のように、将来に向けて身につけておきたい「金融の知識」についても積極的に授業に取り入れることを要望

2 学校施設・設備の整備と安全に関する要望

時代の移り変わり、環境の変化など、これまでとは違う環境の整備が求められていることは学校教育においても例外ではないと感じます。各学校の地域性、立地などの環境も大きく異なることはありますが、ハード面での早急なケアが求められている現状も多くあります。また、ＩＣＴ教育を発展させるため、ネットワーク環境など時代に合ったインフラ整備を求める声が多くなりました。世田谷区の施設として、地域と共にある学校像の拠点として下記の事項を引き続き要望します。

(1) ネットワーク環境整備の充実（新規・継続）

- ①体育館、校内全て全教室へのWi-Fi設備の設置を端末数に制限なく使用できるよう、高速大容量通信ネットワークの整備を早急に要望
- ②タブレット、学校台数の充足。オンライン配信用のタブレットの充足を要望
- ③大きな見やすい電子黒板等の導入を要望
- ④Zoomアカウントの全クラス分設定を要望
- ⑤ＩＣＴ設備の早期導入と音響や映像など必須機材の購入支援を要望

(2) 新型コロナ関係（継続）

- ①自動体温測定器、自動消毒薬ディスペンサーなど感染予防用消耗品の購入予算を要望

(3) 校舎内外・体育館（格技場含む）の点検と改修（継続）

- ①生徒が安全な環境で学べ、かつ地域の避難場所に指定された施設として近年多発する自然災害に備えるためにも、各学校の現状を把握し、校舎内外の老朽箇所の点検、補修、改修などの計画を明確化することを要望
- ②校舎内外のバリアフリー化を要望
- ③正門への電子錠、及びインターフォンの区立中での完備を要望

(4) 熱中症対策のための設備充実（継続）

- ①引き続き、生徒の安全な活動、夏場の活動拡大、またコロナ禍での換気の必要性を踏まえ、体育館空調設備のさらなる増設と機能強化を要望

(5) プールの環境整備（新規・継続）

- ①見学者の熱中症予防、要救護者の避難場所として、プールサイドに屋根付きの日除けの設置を要望
- ②近隣建物からの視線を遮るため、目隠し機能を考慮したフェンスの設置を要望
- ③プール設備（更衣室含む）の改修・増改築・修繕、業者による定期点検・清掃を早急に要望

(6) トイレ設備（洋式トイレ、手洗い場）の改修、増設、新設（継続）

- ①すべてのトイレ（体育館含む）を洋式トイレへ改修、増設、新設を要望
- ②トイレ設備の設置を要望

(7) 校庭の改善（継続）

- ①校庭の陥没箇所の点検、タータンの改修、スプリンクラーの改修、テニスコートの整備、水はけの改善、日よけの設置、フェンスの設置について引き続き要望

(8) 給食（継続）

- ①食物アレルギー疾患のある生徒は年々増加する傾向にあり、よりきめ細かな対応ができる自校調理方式の採用を引き続き要望

(9) 大きな鍵付きロッカーの設置（継続）

- ①通学時の荷物の軽量化のため、学校内に荷物を置いておけるよう、プライバシーが保護され安心して管理できる大きな鍵付きロッカーの設置を要望

(10) 部活動の更衣室・ロッカーの設置（新規）

- ①部活動の更衣室・ロッカーの設置及び改修を要望

(11) 防災関係の要望（新規・継続）

- ①災害時のヘルメットや防災グッズの全生徒分の完備を要望
- ②災害時物資等の充実を要望
- ③災害時の避難場所として指定されている施設として、校庭の放送設備、照明設備の整備を要望

(12) 防犯・警備（継続）

- ①不審者情報が増加している中、学校関係者以外も自由に入り出しができ、訪問チェックもできていない現状を鑑み、警備員の増員・全日常駐（土曜授業日含む）を引き続き強く要望
- ②防犯カメラの導入・増設を要望

(13) その他（新規）

- ①競技場など区の施設を借りられるように要望

3 部活動に関する要望

学校教育のみならず、生涯学習の推進などを踏まえても、中学校での部活動は大変重要な教育活動の一つです。部活動の充実には、専門的指導と顧問教員の異動などで変わることのない環境の継続が必要です。関わる先生方には長時間の拘束、土日曜日・祝祭日の出勤など、かなりの荷重となっている現状も問題の一つとなっております。もう一方で、ガイドラインもあるように、生徒の健全な成長に悪影響を及ぼすような指導なく、部活動に励むことができることも重要と考えます。教える側と教わる側の双方が、負担のない環境で幅広い充実した部活動に取り組めるような支援をお願いいたします。

(1) 部活動支援員制度の充実と待遇改善（継続）

- ①部活動運営において部活動支援員は顧問教員の負担を軽減する大きな手となっていますが、必要な人員を手配するには学校配当予算が未だ不十分。また、謝礼単価等に関してもさらなる増額を要望
- ②部活動外部指導員確保のため、区による斡旋等サポートシステムの構築を要望
- ③部活動外部指導員、技術指導ができるコーチを呼ぶための資金援助を要望

(2) 部活動備品や用具の充実・メンテナンスなどに伴う予算の増額（継続）

- ①充実した部活動を行うために必要な楽器や用具、備品などの購入費、メンテナンス費に充当する予算として各校に20万円配当継続、増額を要望

(3) 顧問教員の待遇改善（継続）

- ①平成18年度より、世田谷区立学校管理運営規則に規定されているとおり、中学校の教育活動としての位置づけをより明確にするため、充実した支援を要請。特に顧問教員は放課後や土日の部活動試合の引率などで大きな負担を強いられるので、都だけでなく世田谷区からの顧問教員への手当の拡充、複数顧問制を要望

(4) その他（新規）

- ①体育大学などとの提携を要望
- ②地域移行の方向性の明示を要望
- ③外部指導員の人材確保事業について保護者・学校への周知不足を感じる。区を通じてどのような事業が利用できるのか、マッチング方法などを教師保護者ともに共有できるよう、周知を要望
- ④環境に優しく、交通費負担も減る自転車移動の承認を要望

4 地域の教育環境、PTA活動環境の整備に関する要望（新規・継続）

- ①図書館の設立・勉強スペースの確保を要望
- ②学び舎小学校中学校との連携強化、近隣高校・大学との交流の推進の推進、近隣施設の相互利用、優先的活用を要望
- ③世田谷区がPTAや町会など地域活動団体に機器やサービスの導入を斡旋できる窓口となり、支払いは各団体の口座から引き落とす仕組みを要望
- ④設備の充実した施設だけでなく、ただの広場の確保や縁を増やす活動を要望

5 いじめや不登校の問題に関する要望

教育現場におけるいじめの未然防止、早期発見や発生後の対応などの重要性がこれまで以上に高まっています。いじめ防止に関する総合的な取り組みの実現のためにも、下記の事項を要望します。

(1) スクールカウンセラーの増配置（新規・継続）

- ①いじめの早期発見・早期対応、不登校とならないための相談や、不登校生徒の対応にもあたるなどカウンセラーの業務が近年多事におよんでいます。また、生徒、保護者が必要な時にいつでも相談できる体制を望む声が例年各校より上がっている。カウンセラーの常勤、増員、勤務日数の増加、勤務時間の延長を要望
- ②自校専任スクールカウンセラーの常勤配置を要望

(2) いじめ・不登校（新規・継続）

- ①生徒達がいじめについて考えることの出来る機会を増やし、「いじめ防止プログラム」の内容のさらなる充実を要望
- ②子ども、保護者、家庭、学校と関わりのバランスをとりながら、協調性や自立心を養い、不登校生徒の学校生活への復帰、自分らしい進路の実現を支援する「ほっとスクール」の増設や相談窓口の拡充を要望
- ③不登校生徒へのオンライン授業による対応を要望
- ④不登校生徒へのオンライン指導の明確な基準設定を要望
- ⑤不登校生徒の健康診断への配慮を要望
- ⑥不登校生徒へのサポートの為の予算を要望
- ⑦不登校生徒への勉強面のサポートを要望
- ⑧不登校生徒のため自校に適応指導教室の設置を要望
- ⑨ネットリテラシーの教育（保護者を含む）を要望
- ⑩学校や保護者だけでなく、ネットも含めて「どのような場所でも誰かとつながっていられる居場所」への支援を要望

6 その他

(1) 携帯電話・タブレット端末に関するルールの設置（新規・継続）

- ①子どもたちの各タブレットの視聴時間などの制限や利用の閲覧管理を各家庭で設定できるようにすることを要望
- ②デジタル活用で生じる課題の対策と方針の明示を要望

(2) その他（新規・継続）

- ①新型コロナの影響による修学旅行中止の際に伴う企画料、キャンセル料の区による負担を要望
- ②物価高に伴う給食費の補助金の継続を要望
- ③学校での模試受験機会の設定を要望
- ④すぐーるでESAT-Jの申し込みができるよう要望
- ⑤ボランティア団体（PTA、英検試験監督など）の会計処理に行政の後援が入る仕組みを要望
- ⑥区内29校のインフラ項目のリスト化を要望
- ⑦臨時休校時の給食の食材を活用する仕組み作りを要望

令和5年度教育条件整備要望書

29校要望一覧

1 学校教育環境の充実・整備に関する要望

(1) I C T の活用の充実（継続・新規）

①・オンライン授業の格差の改善（尾山台）

- ・先生がスムーズに対応できることなどいっそうのオンライン授業の充実と、区がカリキュラムを用意するなどの措置（梅丘）

②・授業中の調べ学習、宿題の提出、まとめ学習などへもっと活用できる方策の検討（玉川）

③・I C T 支援員の増員（梅丘、千歳）

- ・I C T 支援員の配置増加と常駐希望（深沢）
- ・区で契約した外部の情報通信技術（I C T）専任担当の配置（弦巻）
- ・当該分野に詳しいI C T 支援員の増員（世田谷）

④・教科書・資料・プリントをデジタル化してほしい（北沢、桜木、世田谷、瀬田、深沢）

- ・教科書、ノートなどのデジタル化（三宿）
- ・教科書のオンライン化など進めてほしい（船橋希望）

⑤・プログラミング授業の充実（梅丘、上祖師谷）

- ・プログラミング授業などの導入（尾山台）

⑥・今後またコロナと同じような状況が起こった場合の対処の仕方の検討（梅丘）

⑦・家庭へのI C T 環境のための補助の強化（深沢）

(2) 教職員の増員（継続・新規）

①・教職員の早急の増員（松沢、緑丘、船橋希望、富士）または学校業務支援員の確保と常駐（富士）

- ・生徒人数で決められている教員の増枠（砧南）
- ・全クラスに専任の副担任を配置（砧、太子堂）
- ・副担任制拡充（要員の確保）（瀬田、深沢）
- ・どの授業でも2名体制での指導（梅丘）

- ・マスクがいらない生活になるまでクラスの生徒数を減らし先生の人数増（梅丘）

②・スクールサポートスタッフの増員（松沢、瀬田）、配置（用賀）

- ・スクールサポートスタッフの増員と予算額の増額（「感染対策のための作業（検温、検温用紙回収・チェック、衛生チェック等）」「授業のための作業（プリントコピー、授業前のI C T環境整備、授業中の配信映像の音声、画像チェック等）」を補助する人員の増員と予算増額）（砧）
- ・学校生活サポーターの増加と教室の増加希望（深沢）

③・学習包括支援員を増員・追加配置（北沢、梅丘、駒留、尾山台）

- ・部活動において学校包括支援員の複数配置を強く要望（喜多見）

④・教育委員会でも教員を探すなど対策をしてほしい（千歳）

⑤・副校长事務補佐の新設（砧）

⑥・スクールソーシャルワーカーの設置の充実（緑丘）

- ・自校専任のスクールソーシャルワーカーの常勤配置（用賀）

⑦・スクールロイヤーの設置（烏山）

(3) 少人数教育・授業（継続・新規）

①・35人以下の学級の実現（梅丘）、継続（用賀）

- ・1クラスの生徒（追記）人数を減らすこと（駒留）

②・A L T の常勤配置（梅丘、三宿、用賀）、または日数増（三宿）

- ・外国人教師の常勤配置または日数増（三宿）

- ・外国人教師の増員をし、英語教育の充実（芦花）、英会話力の向上（深沢）
- ・外国人教諭による実践的な授業（国際化に不可欠な英語の聞く、話す授業）を増やしてほしい（船橋希望）
- ・ネイティブの指導員の増員（奥沢）
- ・コミュニケーションの先生も A L T として配置（深沢）
- ・教員条件の柔軟化に向けた働きかけ（都が臨時の免許状を出して、その者による授業が生徒たちの単位に算入されるように、区から都、国にルール変更を働きかけ、同時並行でその仕組み作りの準備）（砧）
- ③・英語と数学の少人数クラスを設置できる環境にしてほしい（千歳）
 - ・英語の少人数授業導入（三宿）※スピーキングテストの導入も開始されたため
 - ・区費の英語の教員を増やし、少人数制（15人程度）できめ細やかな指導（世田谷）
 - ・習熟度別少人数授業の実施（深沢）
- ④・個々に合わせ習熟度の低い生徒への補習を要望（北沢）
 - ・個別支援を行うための人員配置を増員してほしい（千歳）※学習の遅れ、学習障害への個別の対応のため

(4) 特別支援教育の充実（継続・新規）

- ①・特別支援学級の各校配置、または支援員の増員（砧南、三宿）
- ②・特別支援、不登校対応スクール新規開設（緑丘）
- ③・生徒数で決められている特別支援員の増枠（砧南）
 - ・特別支援包括サポート教員の増員（太子堂）
 - ・特別支援の生徒のために個に応じた支援をより充実させるために人的補償の予算増額（桜丘）
 - ・特別支援教室の現状の視察に来ていただき、教職員の方々が余裕を持って職務に当たることができていい現状を見ていきたい（緑丘）
 - ・おおぐま学級（知的障害特別支援学級）の担任を二人にしてほしい（北沢）
 - ※担任がいないときに指導が不十分。また生徒が増えたときの対応ができないのではないか
- ④・自閉症などを対象としたクラスを各校に設けてほしい（芦花）
 - ※知的な障害を有しない集団生活に支障がある生徒を対象とし、一般の生徒と同様の授業内容で進めていくクラスが必要
- ⑤・すまいるルームの利用を必要であれば在学中の3年間、支援が受けられるようにしてほしい（船橋希望）
- ⑥・特別支援教育の指導充実（用賀）

(5) その他

- ①・キャリア教育のための高校生・大学生・社会人の様々な職種の方の講演・交流の場を増やすための区としての人材確保サポート（深沢）
- ②・教科「日本語」の授業のように、将来に向けて身につけておきたい「金融の知識」についても積極的に授業に取り入れてほしい（上祖師谷）

2 学校施設・設備と安全に関する要望

(1) ネットワーク環境整備の充実

- ①・体育館、校内全て全教室への Wifi 設備の設置を端末数に制限なく使用できるよう、高速大容量通信ネットワークの整備を早急に要望
 - （松沢、緑丘、桜丘、千歳、烏山、世田谷、瀬田、玉川、八幡、喜多見、太子堂、深沢、砧、富士、駒沢）
- ②・タブレット、学校台数の充足。オンライン配信用のタブレットの充足（松沢）
 - ・すまいるルーム教員用タブレットを支給してほしい（緑丘）
- ③・電子黒板等の導入（瀬田）
 - ・プロジェクターの導入（玉川）
 - ・移動式プロジェクターの設置（緑丘）
 - ・プロジェクター、テレビ等の映像機器の各クラスへの整備（太子堂）
- ④・ZOOM アカウントを全クラス分設定（桜丘）
- ⑤・ICT 設備の早期導入と音響や映像など必須機材の購入支援（砧南）
 - ・ICT のインフラ（ハードおよびソフト）整備（用賀）

(2) 新型コロナ関係

- ①・自動体温測定器、自動消毒薬ディスペンサーなど感染予防用消耗品の購入予算（昨年度継続）
 - ・引き続き、感染対策への予算の充実（太子堂）

(3) 校舎内外・体育館（格技場含む）の点検と改修

- ・校舎の立て直し（松沢、千歳）
- ・校舎の耐震強化（梅丘、緑丘）
- ・校舎、老朽化に伴うメンテナンス、修繕の迅速対応（太子堂）
- ・校舎、体育館、格技室の建て替えを早急に進めてほしい（取り急ぎ不具合箇所の修繕に着手してほしい）（上祖師谷）
- ・校舎老朽化箇所の点検と補修（教室及び廊下の床、トイレの配管）（尾山台）
- ・全ての生徒が安全な環境で学べるよう、東校舎の増築・改修（桜木）
- ・教室の増設が必要（学校改修計画を示してほしい）（千歳）
- ・学級数増加に対応できるよう普通教室の増設（深沢）
- ・現在の教育活動に見合った校舎設備の更新（砧南）
- ・更衣室の増改築、修繕を早急に進めてほしい（上祖師谷）
- ・格技室天井の欠損部修繕（所有権は世田谷区のため）（緑丘）
- ・雨漏りする場所の修理（格技室）（駒沢）
- ・北斗館のトイレ（地下設備のため湿度が高く降雨後に水溜りができる）に換気機能を追加（北沢）
- ・廊下や壁など結露がしないよう、整備（深沢）
- ・音楽室や美術室の拡張（千歳）
- ・校舎全体の照度不足の早期解決（千歳）
- ・照明は省エネのため、LEDに変更（砧）
- ・教室の窓を新しいサッシに交換（千歳）
- ・中学校として繋がっていた校舎に導入された乳幼児保育施設の同居は無理があり、適切な保育教育施設の建設と運用（砧南）
- ・冷水機の新設・増設（緑丘、千歳）
- ・黒板のホワイトボード化（緑丘）
- ・音楽室に暗幕の設置（緑丘）
- ・新しい机の設置（被服室）（駒沢）
- ・クラスの机・椅子を体に合った負担のかからないもの（梅丘）
- ・エアコンの内部クリーニング（緑丘）
- ・生徒会室に空調機器の設置（駒留）
- ・体育館、音楽室のエアコンを早期に大型のものへ交換（千歳）
- ・換気設備、空調設備（エアコン）を買い替え・修理交換・新規設置
(松沢、北沢、緑丘、梅丘、富士、瀬田、尾山台、用賀、深沢、桜丘、砧南)
- ・新しい扉と鍵の設置（各教室）（駒沢）
- ・エレベーターの設置（弦巻）
- ・断熱フィルムを窓に張る（桜丘）
- ・学校設備、備品に使える予算の増額（砧）
- ・体育館の床を改修（千歳）
- ・体育館、体育館裏側の階段、格技室、トイレの迅速な建て替え（砧）
- ・各教室に2～3台程度のサーキュレーターの設置（空気の攪拌により空調の効率が向上するため節電効果も期待できる）（八幡）
- ②・校舎内外のバリアフリー化（用賀）
- ③・正門への電子錠、及びインターフォンの区立中の完備（尾山台）

(4) 熱中症対策のための設備充実

- ①・熱中症対策また避難所として運営する際の設備機能の向上になるため体育館の空調設備の改善（梅丘）

- ・熱中症対策として（運動会開催時含む）各校に十分なテント数を準備してほしい（烏山、桜丘）

（5）プールの環境整備

- ①・見学者の熱中症予防、要救護者の避難場所としてプールサイドに屋根付きの日除けの設置
(東深沢、尾山台、奥沢、用賀、深沢、緑丘、駒留、弦巻、世田谷、喜多見)
- ②・子どものプライバシー保護の為、防犯の観点からも早急にプールの目隠し用フェンスの設置
(尾山台、上祖師谷、世田谷)
- ③・プールの更衣室の改修（桜木）
 - ・更衣室の増改築、修繕を早急に進めてほしい（上祖師谷）
 - ・業者による定期的な清掃（プールの更衣室・シャワー室）(駒沢)
 - ・温水シャワーをつけてほしい（奥沢）
 - ・プールの設備（コンクリート階段の破損、排水口の異臭）の早期修理、定期的に業者の点検を入れるなどの対策（千歳）

（6）トイレ設備（洋式トイレ、手洗い場）の改修・増設・新設

- ①・すべてのトイレ（体育館含む）を洋式トイレへ改修、増設、新設
(松沢、緑丘、梅丘、千歳、桜木、三宿、太子堂、駒留、弦巻、瀬田、尾山台、用賀)
- ②・ウォシュレット付トイレの増設（男子トイレにも）(駒留)
 - ・音姫、自動センサー蛇口の整備（太子堂）

（7）校庭の改善

- ①・体育、部活動時の生徒の安全のため、校庭の改修や土の入替えなど整備（梅丘、千歳）
 - ・グラウンド設備の整備・改善（上祖師谷、用賀）
 - ・スプリンクラーの交換（千歳）
 - ・ターランを直して欲しい（松沢）
 - ・テニスコートの整備（コート内の凸凹の修繕、ネットの交換等）(桜丘)
 - ・近年の猛暑を鑑み、熱中症対策のための、校庭の日よけの設置（深沢）
 - ・校庭のフェンスの高さが不十分、適切な高さのフェンスを早急に設置してほしい（上祖師谷）

（8）給食

- ①・給食を自校調理方式にしてほしい（千歳、緑丘、駒留）

（9）大きな鍵付きロッカーの設置

- ①・生徒たちの荷物を十分収納できる大きな個人用鍵付きロッカーの新設、増設
(松沢、砧、烏山、弦巻、用賀、奥沢、桜木)

（10）部活動の更衣室・ロッカーの設置

- ①・部活動の更衣室・ロッカー設置及び改修（三宿、千歳）

（11）防災関係の要望

- ①・災害時のヘルメットや防災グッズ、全生徒分を完備してほしい。防災頭巾の常備など検討を希望（砧）
 - ・折りたたみヘルメットを人数分配布してほしい（船橋希望）
- ②・災害時物資等の充実（駒留）
- ③・災害時の避難場所として指定されている施設として、校庭の放送設備の不備、照明の照度不足
(尾山台、松沢、太子堂)

（12）防犯・警備

- ①・警備員の増員・常駐、校門の施錠、出入りの管理等の警備体制の整備
(桜木、砧、富士、深沢、梅丘、船橋希望、用賀)

②・防犯カメラの導入・増設（太子堂、用賀）

（13）その他

- ①・生徒数に対してグラウンドが狭く、運動会が観戦できないので競技場などの区の施設を借りられるようにしてほしい（船橋希望）

3 部活動に関する要望

（1）部活動支援員制度の充実と待遇改善

- ①・部活動支援員の配置・増員・制度の充実・待遇改善
(梅丘、駒沢、駒留、用賀、深沢、砧、瀬田、世田谷)
②・部活動外部指導員確保のため、区による斡旋等サポートシステムの構築を要望
(松沢、北沢、烏山、砧、砧南、深沢)
③・部活動外部指導員、技術指導ができるコーチを呼ぶための資金援助を要望
(松沢、北沢、緑丘、梅丘、烏山、芦花、上祖師谷、船橋希望、弦巻、富士、砧、砧南、奥沢、深沢、東深沢、尾山台、瀬田、太子堂)

（2）部活動備品や用具の充実・メンテナンスなどに伴う予算の増額

- ①・部活動メンテナンス費用各校20万円継続、増額を要望（北沢、千歳、桜丘、用賀）

（3）顧問教員の待遇改善

- ①・複数顧問制・顧問教員への待遇改善（松沢、梅丘、船橋希望、砧、尾山台、瀬田、用賀、太子堂）

（4）その他

- ①・体育大学などとの連携を要望（太子堂）
②・地域移行の方向性の明示を要望（砧、千歳、砧南）
③・外部指導員の人材確保事業について保護者・学校への周知不足を感じる。区を通じてどのような事業が利用できるのか、マッチング方法などを教師、保護者ともに共有できるようもっと周知をしてほしい（芦花）
④・環境に優しく、交通費負担も減る自転車移動の承認を要望（船橋希望）

4 地域の教育環境、PTA活動環境の整備に関する要望

- ①・図書館の設立・勉強スペースの確保（富士、瀬田）
②・学び舎小学校中学校との連携強化、近隣高校、大学との交流を希望
(芦花、瀬田、砧、用賀、深沢、太子堂)
③・世田谷区がPTAや町会など地域活動団体に機器やサービスの導入を斡旋できる窓口となり、支払いは各団体の口座から引き落とす仕組みを要望（砧南）
④・設備の充実した施設だけでなく、ただの広場の確保や緑を増やす活動（世田谷）

5 いじめや不登校の問題に関する要望

（1）スクールカウンセラーの増配置（新規・継続）

- ①・スクールカウンセラーの常勤を引き続き要望します（梅丘）
・校内のカウンセラーの勤務日数・時間を増やし、不登校のサポート窓口にもなってほしい（桜木）
・生徒登校日全てに、カウンセラーの常駐を希望（砧）
・カウンセラーの質の向上や気軽に相談できる場所が欲しいので常勤にしてほしい（船橋希望）
・スクールカウンセラーを増員して、子どもたちが抵抗なく相談できる環境の確保（世田谷）

- ・スクールカウンセラーの常勤、全日常駐（駒沢、富士、弦巻）
 - ・スクールカウンセラーの増員、配置日数の増加（尾山台）
 - ・個に応じた支援をより充実させるための人的補償の予算の増額（桜丘）
 - ・心理福祉職の拡充・区から派遣制度の導入（深沢）
 - ②・自校専任のスクールカウンセラーの常勤配置（烏山、用賀、深沢）
- (2) いじめ・不登校（新規・継続）
- ①・いじめ防止プログラムの継続（講師によって差があるので質の良いプログラムの内容を）（深沢）
 - ②・ほっとスクールの拡充（瀬田）
 - ・ほっとスクール『希望ヶ丘』のような『ほっとスクール（教育支援センター）』の増設（深沢）
 - ・ほっとスクールの増設、定員増加（緑丘）
 - ・ほっとスクールの増設（太子堂、北沢）
 - ③・現状不登校の生徒にはオンライン授業についてはハードルが高いようだ。オンラインの授業の機会をより迅速に与えられるようにしていただきたい（芦花）
 - ・IT専門スタッフの登用などサポート体制の充実（太子堂）
 - ・タブレットを活用して、不登校の生徒に授業の内容を配信（PDF等で）（玉川）
 - ・不登校生徒への教育フォロー（タブレットの活用など）が各校で連携され、取り組みが向上される環境づくり（砧南）
 - ④・オンライン指導の明確な基準を設けてほしい（緑丘）
 - ⑤・不登校中で健康診断を受けるのは困難なため、総合病院など単独施設での複数科目受診を許可してほしい（砧南）
 - ⑥・不登校生徒への何らかのサポートのための予算（奥沢）
 - ⑦・不登校生徒への勉強面のサポートの充実（サポートする教室の拡充と人員の派遣。サポート時間拡充）（深沢）
 - ⑧・不登校生徒のため自校に適応指導教室の設置（深沢）
 - ⑨・保護者を含めたネットリテラシー教育の強化（砧南）
 - ⑩・学校や保護者だけでなく、ネットも含めて「どのような場所でも誰かとつながっていられる居場所」への支援をお願いしたい（砧南）

6 その他

- (1) 携帯電話・タブレット端末に関するルールの設置（新規・継続）
- ①・小学生がタブレットを友達同士で覗き込みながら下校していたり、中学生がコンビニ前で座り込み数人でタブレットを見ている光景を目にする。保護者がスクリーンタイムなどの制限をかけられないためYouTube漬けになっている話や、ゲームアプリがダウンロード出来なくてもゲームをしている子も多いと聞く。区の方針を「あえて制限を設けない」と聞いているが、大人の目の行き届かないところで子どもが誘惑に勝てるとは思えない。一律で配るなら制限ができる環境が必須だと思う（上祖師谷）
 - ・タブレットにフィルタリングや保護者が制限をかけられるよう設定してほしい（芦花、深沢）
 - ・世田谷区から配布されているタブレット端末がほとんど制限なく各家庭に任せられている。子供は学習の為と部屋に長時間持ち込み、家庭の約束だけでの管理はしづらい。至急タブレット端末の制限の見直しをしていただきたい（船橋希望）
 - ・タブレット使用の実態の把握と使用環境の改善（スクリーンタイムの家庭ごとの設定許可など）（世田谷）
 - ・保護者が子どものタブレット利用状況を確認できるICTサイトや各教科学習時間の閲覧管理機能が無い。子どもの利用の閲覧管理を出来るようにしてほしい（上祖師谷）
 - ・区配布のタブレットに保護者が管理できる仕組みの導入（砧）
 - ・貸与しているiPadに時間制限や年齢に合った制限をかけてほしい（東深沢、深沢）

- ・配布されているタブレットではYouTubeの視聴時間等の制限が端末ごとに管理できない状況です。各家庭で制限の設定ができるような環境整備を継続して要望します（各家庭のルールに対応できるようにしていただきたい）（梅丘）
 - ・使用時のガイドラインの提示（玉川）
- ②・スムーズなネットワーク環境やＩＣＴ人材による支援を求めていますが、一方で、デジタル活用によって生じる課題の対策と方針の明示を要望（砧）

（2）その他（新規・継続）

- ①・コロナ等で修学旅行が中止・延期した場合のキャンセル料を区に負担してほしい。キャンセル保険も区に負担してほしい（北沢）
- ②・物価高に伴う給食費の補助金を継続してほしい（北沢）
- ③・塾へ行っていない生徒は受験先を相談しにくいので、模試などを学校で受ける機会を設けてほしい（梅丘）
- ④・3年生のスピーチングテストの申し込みをすぐ一覧で、できるようにしてほしい（梅丘）
- ⑤・英検試験監督の地域ボランティア活動など、地域運営学校の取り組みにふさわしい活動でも、ＰＴＡと同じく「お金の管理」が課題となっております。金融機関の反社勢力対策で口座開設すら厳しい状況でも活動が推進できるよう、ボランティア団体の会計処理に行政の後援が入る仕組みを世田谷区で検討いただけるとありがたいです（砧南）
- ⑥・公教育における格差を早急に是正するために、区内29校のインフラ項目をリスト化して【見える化】していただきたい（用賀）
- ⑦・臨時休校時の給食の食材を活用する仕組み作り（砧）

令和4年度 世中P連 本部活動報告（4/1～9/13）

【P連事業】

● 役員会引継ぎ等	4/8, 22, 27	教育センター他
● 役員会、理事会準備委員会	4/8, 27	教育センター
	6/1	教育総合センター
	9/2	Zoom 開催
● 第1回理事会	5/10	書面開催
● 定期総会	5/27	書面開催
● 第1回単P会長会	6/18	北沢タウンホール
● 教育条件整備要望書取りまとめ	7/17, 8/9, 23	教育センター
● 第2回理事会	9/13	書面開催

【世田谷区定例会合および関連諸団体】

● 社会を明るくする運動 世田谷区推進委員会 区民まつり小委員会会議	6/22	世田谷区役所第2庁舎
● 第1回「世田谷区いじめ防止等対策連絡会」	7/12	教育総合センター
● 第2回思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス/ライツ周知啓発専門部会	7/12	Zoom 開催
● 思春期世代に向けたリプロダクティブ・ヘルス/ ライツワークショップ	8/8	教育総合センター
● 第1回世田谷区健康づくり推進委員会	8/9	Zoom 開催
● 第1回学校給食調理業務民間委託業者 選定委員会	8/22	世田谷区役所第1庁舎
● 第25回「アドベンチャーin 多摩川いかだ下り 大会」	8/28	多摩川河川敷

令和4年9月13日

世田谷区立中学校
P T A会長 各位

世田谷区立中学校 P T A連合協議会
会長 栄 裕美

「令和4年度P T A研修会記録」の原稿依頼について

初秋の候、ますますご健勝のほどお慶び申し上げます。日ごろより世中P連の活動にご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、令和4年度のP T A研修会は29校中18校において開催されております。この研修会の報告を冊子にまとめて記録し、次年度の活動に役立てていただきたいと考えています。

つきましては、下記の通り「令和4年度P T A研修会記録」を作成・提出していただきますようお願ひいたします。

1. 「単P研修会記録」

開催校にご提出いただきます。書き方は、別紙記入例①②を参照して下さい。

2. 提出方法

- 1) 「単P研修会記録」は、各ブロックの世中P連副会長へLINEに添付して、必ずWordデータでご提出ください。
- 2) ブロックごとの「単P研修会記録」をまとめて、ブロック副会長が、生涯学習・地域学校連携課に提出します。

3. 提出期限

- 1) 研修終了後、[2週間以内]を目途に速やかに提出して下さい。
- 2) 1学期に終了している場合は9月中に提出して下さい。

・編集、印刷、冊子作成は生涯学習・地域学校連携課で行います。各ブロック副会長から生涯学習・地域学校連携課への提出期限は令和5年1月27日(金)です。
必ず期限前に各ブロック副会長へ提出して下さい。

問合せ先：各ブロック副会長

記入例①

〈 ○ ○ 中学校 P T A 〉

テーマ : ●●の○○に××

日 時 : 令和●●年○○月△△日 (▲) 13:30 ~ 15:30

場 所 : ○○中学校体育館

研修方法 : 講演会 (←グループディスカッション、シンポジウム等)

講 師 : ▽▽ 花子

参 加 者 : ×× 名

〈研修内容〉(以下自由記述。記述方法は昨年度までの冊子を参照して下さい。)

「P T A 研修会記録」の作成要領

☆ Word で作成してください。

☆ フォーマットについて

ページ設定 : 1行 45 文字

余白 : 上 15 mm 下 22.5 mm 右 22.5 mm 左 20 mm

ページ数 : 1 ページ (多少多くても結構です)

フォント : M S 明朝

サイズ : 中学校 P T A 名のみ 18 pt で太字
項目と本文は 10.5 pt

☆ 〈研修内容〉は消さないでください。

記入例②

〈千歳中学校 P T A〉

テ　ー　マ　：　「ゲームも YouTube もスパッとやめる！子どもに届く魔法の言葉」

日　　時　：　令和3年10月16日（土）15：00～17：00

場　　所　：　千歳中学校 被服室

研修方法　：　講演会

講　　師　：　やまだ ともこ 様

参　加　者　：　35名

＜研修内容＞

■ねらい

デジタルネイティブ時代だからこそ、無理に排除するのではなく、親子で上手に利用しながら子どものやる気、柔軟な思考、自立心を育てる。

■講演会

先生ご自身の子育てや経験を交えつつ、親が抱えているゲームと YouTube の悩みや不満を一つずつ参加者同士が話し合いながら整理していきました。始めにゲームや YouTube についてどんなことで困っているかを挙げてみました。「やるべきことをやらない」、「子どもの将来が不安」であったり、「目が悪くなったりするのではないか」。しかし、その熱中するものが読書や勉強、スポーツならどのように感じるか、なぜ子どもはゲームや YouTube に夢中になるのか、などを参加者同士が話し合ってみました。すると、子どもにとってのゲームや YouTube とは？と、子どもの立場に立って気持ちを考えることの必要性が大切なのだと気づくことができました。

以上のこと踏まえて子どもへの声かけを『～してはダメ』ではなくて、『～したらしていいよ』などと否定的ではなく肯定的な声かけを意識することを学びました。

講演中は先生の問いかけに対して参加者同士でお互いに意見交換をし、話し合うことで見えてくるものがあったり、交流することもできました。

終始和やかな雰囲気のもと終わる頃には『まずはやってみよう！』と参加者が前向きになれる研修会となりました。

■終了後アンケート

「同じ思いをしている方が多くいて安心しました」「ゲームや YouTube をただ悪いことだと思わないことは大事だと思いました。」「子どもの立場にとって共感することが大切なんだと思いました。」「相手が好きなものを否定という形でやめさせようとコントロールしてもうまくいかないですよね。まずは認めてから、こちらのやってほしい事を言うことで伝わると思いました。」などの意見が寄せられました。